

手数料：117,000円

様式第3号(第4条関係)

温泉動力装置許可申請書(記載例)

申請日を記載して下さい→令和●年●月●

宮城県知事 ● ● ● ● 殿

住所 [法人にあっては、主たる事務所の所在地]
氏名 [法人にあっては、名称及び代表者の氏名]

法人の場合は、登記事項証明書と整合するよう記載してください。

下記のとおり温泉に動力を装置したいので、温泉法第11条第1項の規定により申請します。

記

動力の装置の目的	宿泊施設への給湯(詳細は別添のとおり) →(注)6「温泉利用の計画書」に詳細をまとめてください。		
温泉ゆう出地の地番	栗原市●● →土地登記事項証明書の「所在」及び「地番」となります。当該申請までに「温泉ゆう出地取得届」を提出してください。		
源泉の名称	●●の湯 ※当該申請までに「温泉ゆう出地取得届」を提出してください。		
動力の装置をしようとする場所	地番	栗原市●●	土地登記事項証明書の「地目」を記載
	地目	山林	付近の状況 別添見取図のとおり →(注)4を添付してください
温泉掘削等 の許可年月日 及び番号	掘削	令和●年●月●日	宮城県(薬)指令第●●号
	増掘	年 月 日	宮城県()指令第 号
	動力	年 月 日	宮城県()指令第 号
源泉の 現状	口径	199.9mm	原動機部 種類
	深さ	800m	原動機部 出力
	方位	N-°	揚湯機構部 種類
	角度	90°	揚湯機構部 対応出力
	ゆう出量	0L/分	揚湯量
	ゆう出温度	-℃	揚湯温度
	静水位	-100m	動水位
成分	別添温泉分析書の写しのとおり		

動力装置を設置する予定の源泉の「申請時点」での状況を記載します。よって、初めて動力装置を設置する場合は空欄としてください。

		原 動 機 部		揚 湯 機 構 部			
		種 類		種 類			
内 容	動 力 の 装 置 の	1 エンジン 2 モーター 3 その他 ()		1 空気圧縮機 2 水中ポンプ 3 吸い上げポンプ 4 その他 ()			
		製造業者名		●●電気株式会社		▲▲製作所株式会社	
		仕 様 (型 式)		●●-●●型		▲▲-▲▲型	
		出 力		7.5kW		7.5kW用	
		回 転 数		3,000rpm			
		空 気 圧		—		—	
		空気圧縮機の場合		送 気 管 口 径	— mm	送 気 管 長 さ	— m
		水中ポンプの場合		ポンプの位置	—300m		
		揚 湯 管 口 径		50.0mm	揚湯管長さ	298m	
		動力選定理由		別添動力選定理由書のとおり			
着 手 及 び 完 了 の 予 定 日		着手	許可の日から 120日以内	完了	着手の日から 240日以内		
参 考 事 項		工事請負人	住所	住所 仙台市青葉区●●			
			氏名	氏名 株式会社●●			
		許可の有効期間が2年であることを注意してください。					

(注)次に掲げる図書を添付すること。

- 1 法人にあつては、登記事項証明書
- 2 動力の装置をしようとする場所を明示した縮尺5万分の1の地図
- 3 動力の装置をしようとする場所、動力の装置をしようとする場所から500m以内の既存の源泉の場所及び当該源泉と動力の装置をしようとする場所との距離を明示した縮尺1万分の1以上の地図
- 4 動力の装置をしようとする場所を明示した当該場所の付近の見取図
- 5 測量士又は土地家屋調査士が作成した動力の装置をしようとする場所を明示した実測図

→申請地点を中心に隣接地等の境界等を明確に実測したものとしてください。申請地点を確認するために、周囲にある適当な目標物（例えば、「既存源泉」、「境界杭」、「電柱」、「橋」、「河川」、「堰」、「鉄道路線」又は「半永久的に移動する可能性が低い建造物など」）をできるだけ多く設定し、申請地点からそれらへの「距離」及び「方位角」を測定したものとします。

6 温泉利用の計画書

→以下内容をまとめてください。

- 申請に至った経緯
- 事業の概要（温泉を利用する事業の内容及び利用施設等の図面にて説明）
- 事業に必要なとする温泉の湧出量等（浴槽等の必要湯量の算定根拠を含む）

- 利用施設等図面に源泉からの給湯及び利用施設から排水の状況を明記した資料
- 7 動力の装置をしようとする場所の地籍図又は公図の写し
→申請地を含め周囲の地番も分かるものとしてください。
- 8 動力の装置の計画図
→以下内容が含まれている断面図及び平面図としてください。
- ゆう出路の構造
 - ゆう出路に挿入する管の仕様、内径及び挿入の位置
 - 動力装置の位置並びに動力装置に付随する管の内径及び位置
 - ゆう出路付近の配管状況
- 9 揚湯試験の結果を示す書類
→今回申請する動力装置と同じ仕様のもので行った揚湯試験結果から、以下内容を含めて動力選定理由が分かるようまとめてください。
- 上記6「温泉利用の計画書」に記載された必要湯量を大きく超えて揚湯できる動力装置でないことの確認として、揚湯試験結果及び選定動力装置の性能曲線データから妥当性を検証した結果であること。
 - 揚湯試験結果が十分な時間を費やし行われた結果であり、特に、連続揚湯試験が十分行われ、動水位が安定していること。
- 10 暴噴防止対策及び可燃性天然ガスによる災害防止対策を記載した書類
→温泉の可燃性天然ガス濃度が環境大臣の定める基準を超える場合において、動力の装置後に想定しているガス分離設備の設置及び災害防止規程の策定等の安全対策をまとめてください。可燃性天然ガス濃度が環境大臣の定める基準以下の場合、登録分析機関による測定結果を添付してください。
- 11 排水計画書
→温泉ゆう出後の計画をまとめてください。また、排水先の河川等において、他法令関係の行政処分だけではなく、漁業権等の設置があるか確認し、その対策等も含めてください。
- 12 法第4条第1項第4号又は第5号(法人にあっては、同項第4号から第6号まで)に該当しない者であることの誓約書
→記載例を参考に改めて作成してください。

様式第1号の2(第3条、第3条の2、第3条の3、第4条関係)

誓 約 書 (記載例)

個人の場合「私」、法人の場合は「当社」
となるため、○又は二重線で消すのではなく
どちらかを使って改めて作成してください。

私(当社)は、温泉法第4条第1項第4号から第6号に該当しない者であることを誓約します。

申請日を記載して下さい→令和●年●月●日

宮城県知事 ● ● ● ● 殿

住 所
氏 名

法人の場合は、登記事項
証明書と整合するよう記
載してください。